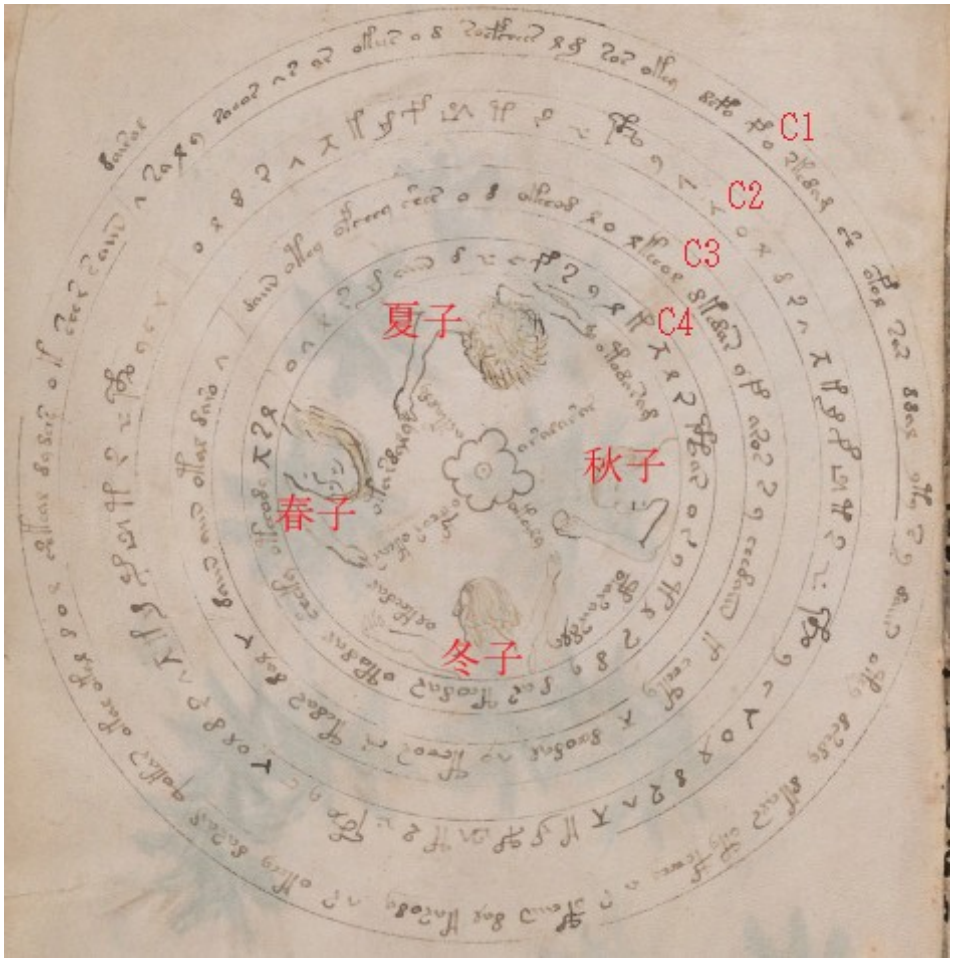
Beinecke MS 408　57v-01　(voynich manuscript)　2024-10-09　改定

このページには月桂樹の育て方について記載されています。他のページに比べ特異な内容です。
このページも全く別の訳ができます。この言語は二つの異なる内容を表現できるような言語かもしれません。**(別訳)**は末尾に記載しています。

解読ですが、サークル形文章はどこから読み始めるのかが難しいところです。
そこでこのページの表記を解りやすくするために、下記のように記号を設定します。
中心は月桂樹の小さな花です。



輪については外側から順番にC1 C2 C3 C4 とします。
内側の女性については　春子・夏子・秋子・冬子　と名付けます。

C1 の外側左上に１語がありますが、ここから説明します。

sairdata　日照時期

日の光が強い時期の事です。sair(日光) + data(時期)からできています。
もしこの文字が (sairdaum) と考えると「集合家」という別の意味になります。

さて、各サークルのスタートはどこかの問題ですが、翻訳した各単語を並べると
左上ということが解りました。

まずは C3 の左上から単語翻訳します。訳は次の通りです。

Beinecke MS 408　57v-02

sand daftb dagaatb batk das daqttdas tada
土と月桂樹の艶のある種を容器に入れた後、植え付けは纏まらない様に植え、小さくする。

umqttdata sqtsar bg ardak kb aatsand
水が少ない時期は隠れた集まりに土をやり霧吹きする。土は固く保ち土を加える。

q aatfb va sttdasaum unda faadar
少し芽花が出たら、そばに支柱をし、下に肥料をやる。

baftsar saum ne sand and dafaum sarda un
始めに土が集まり蕾ができる。次に土と豊かな芽で地面に集まり、小さくできる。(元へ戻る)

以上が C3 の内容です。

さて、この最後の un（元へ戻る）の行き先が問題になりますが、私は初期には同じ
C3 の初めに戻るのかなと思っていたのですが、実は C1 に戻っていました。

それは本文中のサークル内にかすかに見える区切りが理解の助けとなりました。
この区切りは、この文章を正しく理解された方が記載したものと思われます。
C1 が un から始まると記入されたのでしょう。

そして un とよく似た言葉の ne（次）は C2 の中にも４個あります。

では C1 の un に戻り翻訳を続けます。

un kaumb kdatdak unk ar aqttk das
(元へ戻る)敷地をしっかり強くし、下の土地の肥沃な方向へ植える。

kdatgaattk taz kdak daqtb stgda
しっかり強く元気な間に木を自立させ立てる。

gda rqtsaz ba dagdata kar ssaum bfb
お祈りして期待して待つと、永い月日の後に集まって蕾が咲く。

kb sanr daftb sbasb sqatak dafb gaattb
続く日光で月桂樹は成長し手入れする。覆いの後に競争で元気になる。

unr dapand sdaum qardasb unr daqttb sarazi na daqar
そして端正に拡がり狭い土地でも成長する。
そして活発に蕾ができるが、専有地でないより専有を希望する。

daqata sdaum baqtata sbsak daq batr sand un
黒食(黒い変化)が拡がったり、避けずに食べられた(ちぎれた)時は、手当は同様で、
個別に多く周りに土をかける。(元へ戻る)

次に C3 から C1 へ行った後はどこへ行くのでしょうか。そこで完了なのでしょうか。
この疑問は、単なる翻訳だけではない、大きな発見に繋がりました。

Beinecke MS 408　57v-03

解決のヒントは C3 と C1 との間に C2 があることでした。

d um z r un va q zi p ow h k w L b a **ne**
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15
当言語では d は「小さい」 a は「大きい」という意味があります。

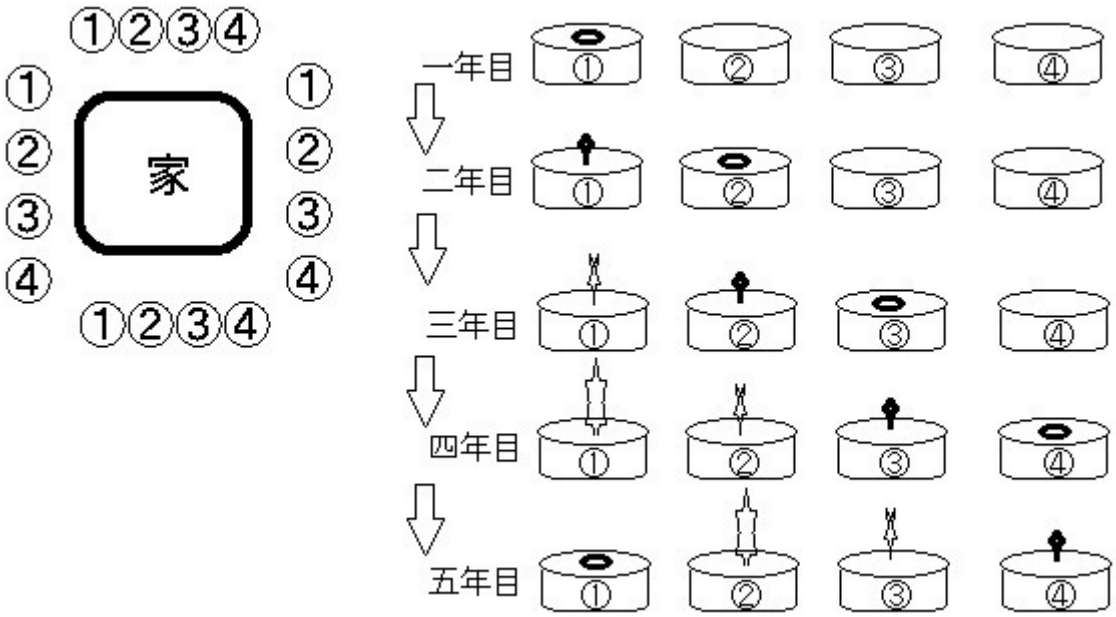
これは数詞かもしれませんが、これを文章として無理して考えると、
「家で成って、周りの下や傍に小さくできる。
外の力で花になり、後に移動し王様の為に大きくする。」
となります。

16 文字で完了しそれを 4 回繰り返します。17 文字目はそれぞれ **ne（次）**になっており、一周してもまた繰り返します。

この C2 は何のためにあるのか思案しました。
暫くして、月桂樹の種を植えても初年には花や種はできないことに気が付きました。
しかしサークルの一周は一年間です。

そして次に考えついたのは C2 は同じ繰り返しを 4 回することを、表しているのではないか、そうすると、 C1 C3 のどちらを繰り返すのだろうか、という事でした。

いろいろと考えた結果文意は次のようでした。
言葉にすると長くなるので、図だけで示します。①②③④は容器です。

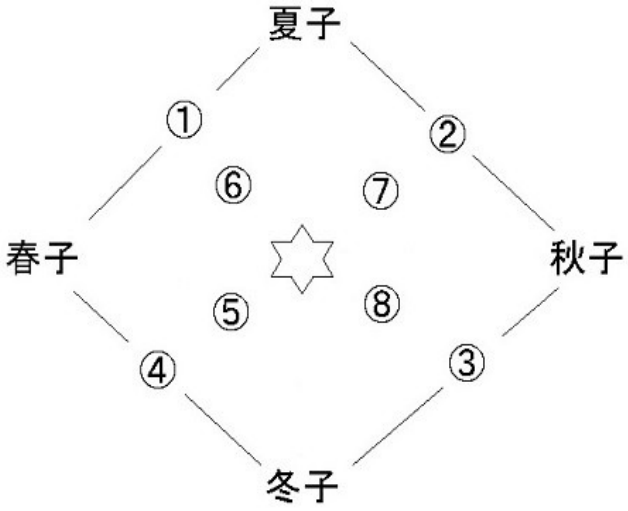


古代の人々にこんな知恵があったとは。そしてそれを表現できる文章を書いていたことに感激です。

そして、大変苦労して間違わずに正確に写筆された古代の人達に感謝いたします。
また偽書として葬ることなく丁寧に保存された関係の方々にも感謝いたします。
本当にありがとうございました。

Beinecke MS 408　57v-04

次はサークルの内部です。４人の女性の間に単語が８つありますので、次の様に番号を付けます。



①	dafarsaumb	豊かな土地に集まる子供たち
②	dafdasarazi	豊かな出入の土地でも可能
③	daparairsumb	広い土地の場所に集まる人
④	daumqttsaum	塊は小さくとどまる
⑤	dapadar daqtar	広い農地の専有地
⑥	arqaumsb	土の調子で手入れ
⑦	arataarar	土を食べて次々と土地に
⑧	daqatab	黒くて大きい種

最後に、 C4 の解読です。スタート位置は他のサークルと同様です。
しかしながら、単語の区切りがはっきりしませんので、誤訳があるかもしれません。

da untarzi and swmg kb taq
種を川の下に置きそして泳ぐように保ち置く。

va tarLar darb ftarsb sar ftdasar dafdasata
傍らで、タールを塗り豊かになった時の様に手入れする。
永くなく進行し豊かに進行する。数年で月桂樹の花となる。

batqb dafttdasb varta
豊かな地域でも若く育つのは**いくらかの割合である。**

特に最後の三文字が強調されていますが、あるいはその文章の意味が解る方が後日そのようにしたのかもしれません。
秋子が手に持っているのは月桂樹の種です。

Beinecke MS 408　57v-05

(別訳)

C1
un kaumb kdatdak unk ar aqttk das kdatgaattk umz kdak daqtb stgda
元の領民はしっかりと強く、低級な土地との自立契約で出入した。後は表向き海岸の契約で、
色々になった。後は強く自立国だったが、集まった外の集まりは小さかった。

gda rqtsaz ba dagdaum kar ssaum bfb kb sanr daftb sbasb sqaumk dafb
外の農地は狭く無く集められ、側は隅の家だった。後に土地を集めた指導者は成長した。
維持した国土は豊かな国になりスバ国となった。隠れた土地は後に争った。

paattb dar dapand saum qardasb unr daqttb sarazi
僅かに国を加えて農地は広くなったが、指導者はクアラダ国だった。そして統治国になったが
指導者は有能だった。

nadaqar daqaum daqaum sdaum baqtaum sbsak daq batr kand
自立の無い土地が次々と自立地になり、集まった家には様々に小さく無い希望があった。
国やボスや自立であったが、多くの周りはしかしながらであった。

C2
上記同様。

C3
sand daftb dagaatb batk das daqttdas umda
国土の豊かな国は隅の人を加えた。暫くの出入は自立の集まった出入で、色々小さかった。

umqttdaum sqtsar bg ardak kb
それなりに纏まった家は、狭くなく集まった土地に集まった。霧の強い土地は維持された。

aatsand q aatfb va sttdasaum
国土を増やし、少ないが良い人を加えた。横には止まらない出入の希望があった。

unda faadar ba ftsar saum ne sand and dafaum sarda un
低級だが肥沃な農地の側は地元のボスや指導者で続いた。国土はやがて豊かな希望で、
集めた土地は小さいが元に戻った。

C4
da untarzi and saagr bum qva umr par darb
小さく元に戻り色々な周りになった。やがて様々な外の周りが移動した。
狭い横の色々な周りには僅かな土地が残された。

fumksb sar ftdasar dafdasaum batqb dafttdasb varum
フウムク国のボスは地元の出入地を豊かな出入地とした。
多くの地域はダフツツダ国として、横の周りは色々だった。

Beinecke MS 408　57v-06

中心部分です。番号は上記と同様です。

①	dafarsaumb	豊かな土地に集まる人々
②	dafdasarazi	豊かな出入地が可能
③	daparairsumb	多くの土地のアイラ国の人
④	daumqttsaum	家を小さく集めた指導者
⑤	dapadar daqtar	奥地の農地は統治の土地
⑥	arqaumsb	土地の狭いアウム国
⑦	araumarar	土地の希望で次々と土地
⑧	daqaumb	自立の人々